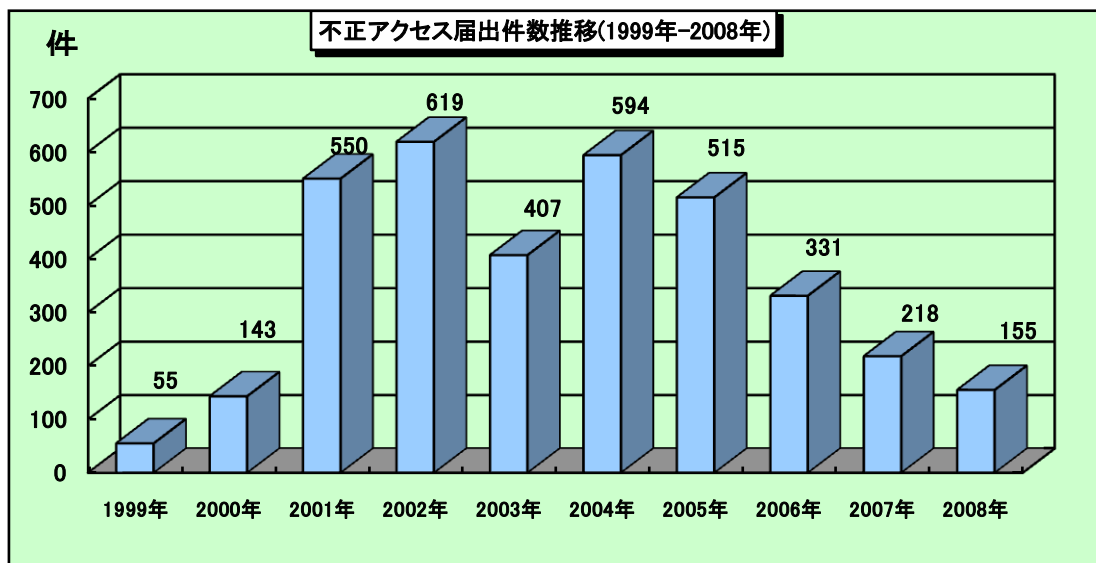


2008年のコンピュータ不正アクセス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構（略称：IPA、理事長：西垣 浩司）は、2008年1月～12月のコンピュータ不正アクセス届出状況をまとめました。

1.届出件数

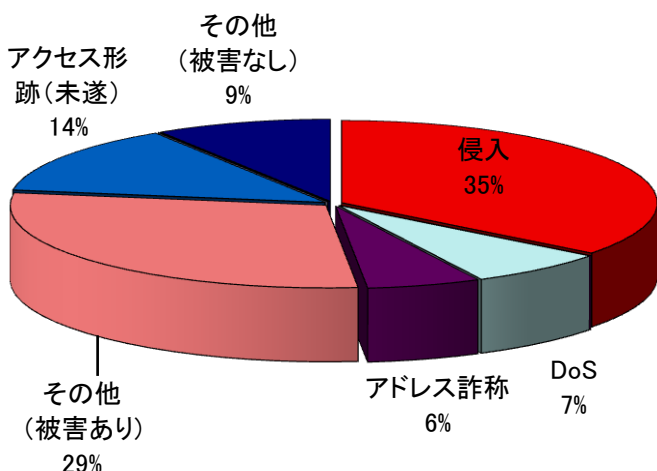
2008年の年間届出件数は155件となり、2007年の届出件数218件から63件(約29%)減少しました。なお、下記グラフは、過去10年間にIPAセキュリティセンターが受け付けた届出件数の推移を示したものです。特に、最近5年間では減少傾向にあります。



2.届出種別

2008年は2007年と比べて、全体の届出数および被害のあった件数の両方が減少しました。

2008年不正アクセス届出種別



届出種別	2008年	2007年
侵入	55	54
メール不正中継	0	2
ワーム感染	0	0
DoS(サービス妨害)	11	5
アドレス詐称	9	15
その他(被害あり)	45	86
アクセス形跡(未遂)	21	51
ワーム形跡	0	0
その他(被害なし)	14	5
合計 (件)	155(120)	218(162)

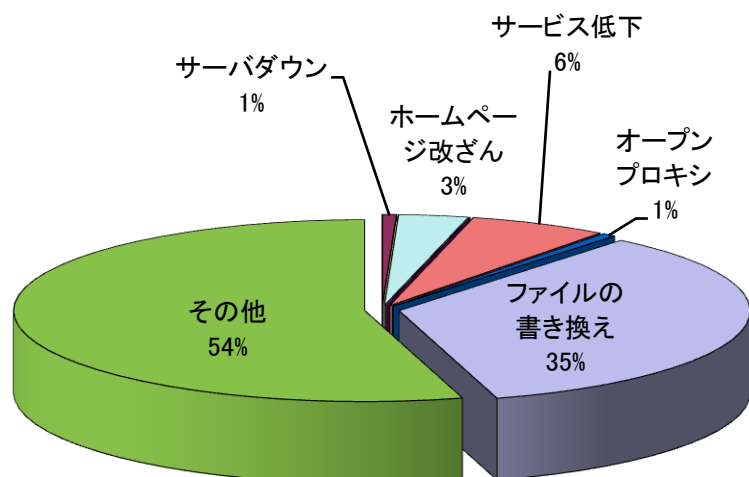
*1)「アクセス形跡(未遂)」はサーバーのログやファイアウォールのログに不正アクセスの痕跡があったもの

※ 網掛け部分とカッコ内の数字は、被害があった届出種別を示しています。

3.被害内容

届出のうち実際に被害があったケースにおける被害内容の分類です。被害内容件数は前年から81件(約34%)減少しました。ファイルの書き換え(プログラムの埋め込み含む)およびサービス低下、ホームページの改ざんによる被害届出が多く寄せられました。「その他」の主な内訳は、“オンラインサービスにおける本人へのなりすまし”や“外部サイト攻撃の踏み台として悪用された”ものなどでした。

2008年不正アクセス被害内容



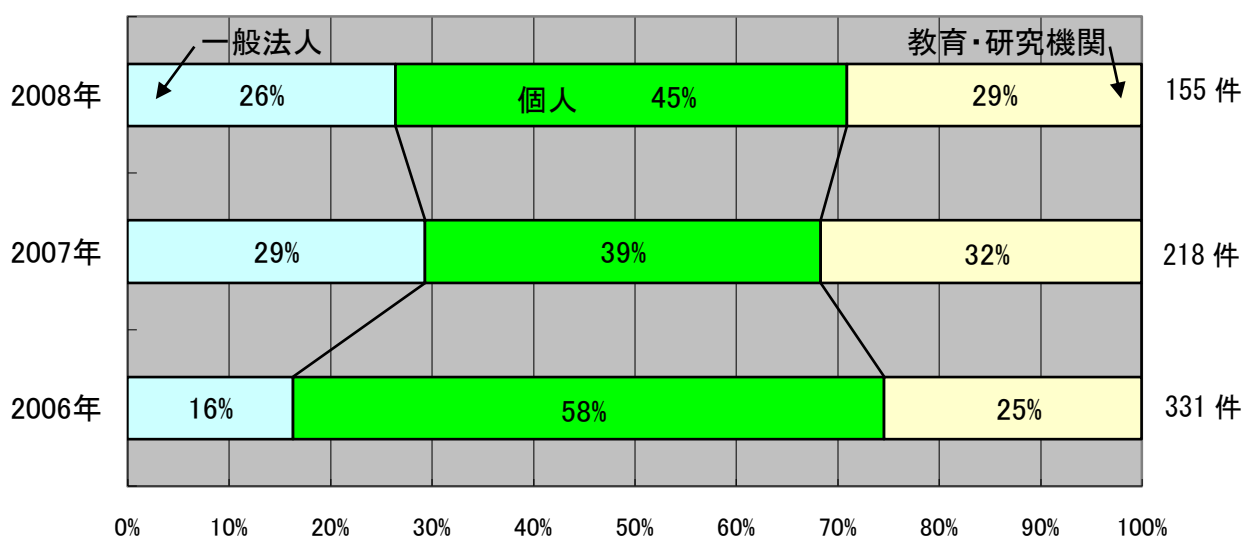
被害内容	2008年	2007年
メール不正中継	0	2
サーバダウン	1	2
不正アカウントの作成	0	1
ホームページ改ざん	5	18
パスワードファイルの盗用	0	0
サービス低下	10	6
オープンプロキシ	1	0
ファイルの書き換え	54	93
その他	85	115
合計 (件)	156(※)	237(※)

※実被害届出1件に複数の被害内容が存在するケースもあるため実被害届出件数合計と一致していません。

4.届出者の分類

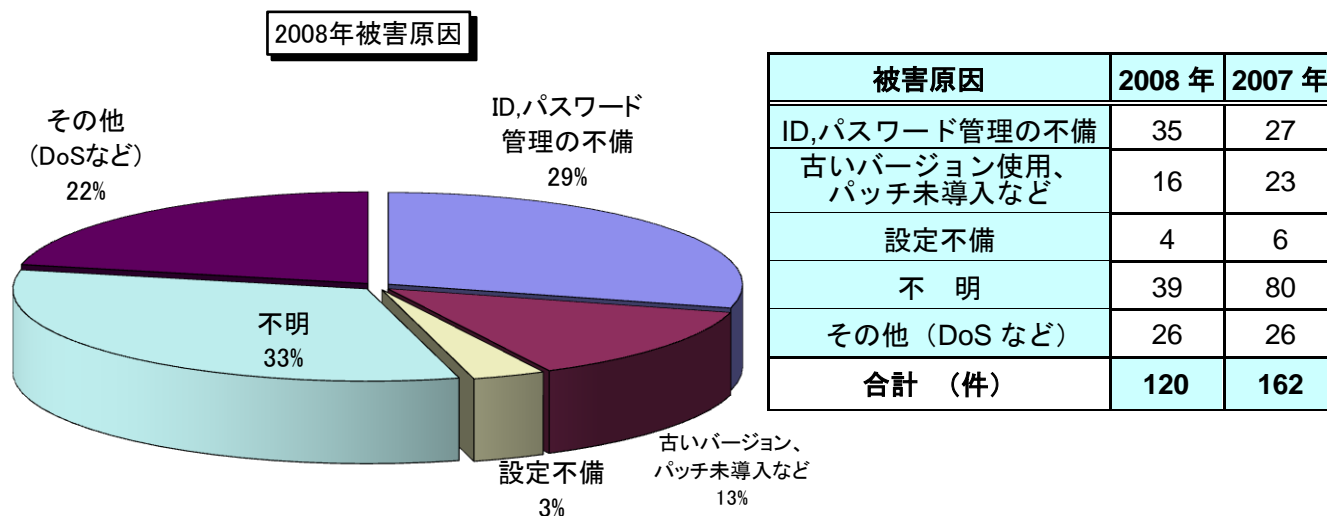
届出者別の内訳は、個人からの届出割合がほぼ半数でした。

不正アクセス届出者別推移



5.被害原因

実際に被害があった届出を原因別分類に見ますと、ID・パスワード管理・設定の不備が35件（29%）、古いバージョン使用・パッチ未導入などが16件（13%）、設定不備が4件（3%）、となっています。原因が不明なケースは39件（33%）と全体の3割を占めており、不正アクセスの手口が巧妙化するとともに原因究明が困難な事例が多くなっているということが推測されます。



6.対策情報

2008年の特徴として、SSHで使用するポートへの攻撃で侵入された被害（ID、パスワードの設定不備が主な原因）やオンラインサービスで本人になりすまして不正にサービスを利用された被害、ウェブアプリケーションの脆弱性を突かれたことによる被害が特に目立っていたことが挙げられます。ここ数年の傾向が同様に続いていると言えます。しかしながら、基本的なセキュリティ対策を実施していれば、被害を免れていたと思われるケースが非常に多く見受けられます。システム管理者は以下の点を確認して総合的に対策を行いましょう。

- ・ IDやパスワードの厳重な管理及び設定
- ・ セキュリティホールの解消（パッチ適用不可の場合は、運用による回避策も含む）
- ・ ルータやファイアウォールなどの設定やアクセス制御設定
- ・ こまめなログのチェック

また、個人ユーザにおいても同様に以下の点に注意しましょう。

- ・ Windows Update や Office Update など、OS やアプリケーションソフトのアップデート
- ・ パスワードの設定と管理（複雑化、定期的に変更、安易に他人に教えないなど）
- ・ ルータやパーソナルファイアウォールの活用
- ・ 無線 LAN の暗号化設定確認（WEP は使用せず、できる限り WPA2 を使用する）

下記情報も参考にしてください。

システム管理者向け

- ・ 「情報セキュリティに関する啓発資料」
<http://www.ipa.go.jp/security/fy18/reports/contents/>
- ・ 「脆弱性対策のチェックポイント」
http://www.ipa.go.jp/security/vuln/20050623_websecurity.html
- ・ 「安全なウェブサイトの作り方 改訂第3版」
<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>

- ・「JVN (Japan Vulnerability Notes)」 ※脆弱性対策情報ポータルサイト
<http://www.ipa.go.jp/security/news/news.html>
- ・SQL インジェクション検出ツール「iLogScanner」
<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/iLogScanner.html>

エンドユーザ・ホームユーザ向け

- ・「IPA セキュリティセンター・個人ユーザ向けページ」
<http://www.ipa.go.jp/security/personal/>
- ・「マイクロソフトセキュリティ At Home」(マイクロソフト社)
<http://www.microsoft.com/japan/protect/default.mspx>

■お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

加賀谷／花村／大浦

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp